



絵金蔵運営委員会

幕末期に活躍した芝居絵師・金蔵が描いた、土佐の夏祭りを彩る芝居絵屏風などを収蔵・展示する「絵金蔵」の管理・運営を行う市民団体です。香南市赤岡町の商店主を中心としたメンバーが、企画展をはじめ、県内外の作品調査や芝居絵屏風の保存・修復活動、芝居絵屏風を飾る祭礼文化の紹介、まちを歩き楽しんでいただくためのしくみづくりなど、絵金と彼を育んだ赤岡の町の魅力を深め、多くの人に伝えるためのさまざまな活動を行っています。



Open Heart

重度重複障害の子どもたちは、18歳までは特別支援学校などで確かな居場所と手厚いケアを受けることができます。しかし、18歳を過ぎると、障害の状況は何も変わらないのに、地域社会に居場所がありません。「この子を残して死ねない。」親の悲しい思いです。「Open Heart」は親たちが立ち上げた小さな施設です。親亡き後も子どもたちが安心して暮らせる社会の実現を目指しています。

認定特定非営利活動法人 NPO高知市民会議

様々な分野で活動する市民活動団体が、継続して取り組みを進めていけるような支援を行うとともに、市民・行政・企業・学校・NPOなど、様々な立場の人をつなぐことによって、地域の課題を解決することをめざしています。また、地域を担う次世代の育ちを支援する取組み「とさっ子タウン」の開催、ボランティア・市民活動への参加の呼びかけ等も行っています。高知市市民活動サポートセンターの運営にも携わっています。



特定非営利活動法人 高知市子ども劇場

年4回のプロによる舞台鑑賞事業を中心に、地域や年齢に応じた体験活動などを企画し、継続して子どもたちに届ける活動をしています。そういった活動をつうじて、知識偏重の世の中でも、心も身体もバランス良く、優しく、たくましく人生に向きあえる人づくりを目指しています。



チャイルドラインこうち

18歳までの子どもたちが、うれしい時、悲しい時、どんな時でも、話がしたい時に無料でかけられる子ども専用電話です。現在、46都道府県で78団体の「チャイルドライン」が年間20万件以上の電話を受け、件数は年々増えています。高知の子どもたちの声は、高知の大人が受けとめよう、高知の子どもたちの心の居場所を作ろうと、2010年5月18日に「チャイルドラインこうち」を開設しました。現在、週3回、ボランティアで高知の子どもたちの声を聴いています。



特定非営利活動法人 要約筆記高知・やまもも

私たちは、聞こえの不自由な方に、話を文字で伝える「筆記通訳」の運動団体です。聞こえの不自由な方々が社会で不利益をこうむらないよう支援します。また、高知県の委託で、要約筆記者の育成に務め、ふれあい体験教室では中高校生に要約筆記を体験して理解を深めてもらい、高知市身体障害者連合会主催のかたつむり教室の支援も行っています。皆が共に暮らせる社会が目標です。